

静岡大学教育学部 塩田研究室

いろいろな依存について 考えよう

指導者用ガイドブック

この教材について

この教材のねらいと活用のポイント

本教材は、場面強制想像法を用いて、子どもたちが様々な依存の入口に立ってしまうシチュエーションを考え、そのリスクを自覚することで、将来的な依存を予防する力を身につけることをねらいとしています。そのために、大きく2つのポイントがあります。

◆ ポイント① 様々な依存の入口に立ってしまうシチュエーションを想像する

従来のトラブル事例の提示が中心の授業では、依存を自分事として捉えさせることが困難でした。本教材は「いつ」「どこで」「誰に」「なぜ」「どのように」というシチュエーションワードを組み合わせて、自分が依存の入口に立ってしまいそうになるシチュエーションを作り、リスクの自覚化を目指します。

◆ ポイント② 統合的に依存を考える

従来、こうした依存に関する内容は、保健体育や情報モラル教育、薬物乱用防止教室などでそれぞれ別々に教えていましたが、本教材では、アルコール、ネット・ゲーム、タバコ、ギャンブル、薬物などを統合的に教えられるようになっていきます。自分の「やめたくてもやめられないこと」を考えることを導入として、様々な依存について考えることができます。

授業の設定

- 実施対象 小学校高学年の児童、中学、高校の生徒
- 実施時間 45分または50分

準備するもの

- ワークシート 1人3～5枚（選択するワークに応じて変動）
- 指導者用ガイドブック

時間	学習活動	準備物等
	<div data-bbox="292 347 1102 499" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">B 自分が「オンラインカジノをやってしまう」 場面を考えてみよう</p> </div> <div data-bbox="292 521 1102 674" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">C 自分が「ゲームでたくさんお金を使ってしまう」 場面を考えてみよう</p> </div> <div data-bbox="292 696 1102 848" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">D 自分が「アルコール飲料を飲んでしまう」 場面を考えてみよう</p> </div> <div data-bbox="292 871 1102 1023" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">E 自分が「たばこ（加熱式たばこ）を吸ってしまう」 場面を考えてみよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 個人でシチュエーションを考えさせ、ワークシートに記入させる。 • グループで記入した内容を共有する。 • 各ページ下部の「注意しよう～」を使って、違法行為や問題行動につながる可能性があることを説明する。 	
15分	<p>5. 上手にやめる方法を考えよう</p> <div data-bbox="292 1467 1102 1619" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">どうすれば上手にやめられるかな？</p> <p style="text-align: center;">3つの方法で考えてみよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> • ここまでの内容をもとに、自分の「やめようと思ってもやめられないこと」をどうすれば上手にやめられるか、3つの方法から考えワークシートに記入する。 • グループで記入した内容を共有し、より多くの上手にやめる方法を考えさせる。 	ワークシート 2枚目の④